



平成18年1月22日 撮影

津市西丸の内25-16

閑静な住宅街でもあり又一步外に出れば商工街でも有る地域。

樋上 益良 様 邸

既設の門・塀・車庫などリフォーム

鉄筋コンクリート布基礎。

そして150mmブロックを積み表裏共にモルタル刷毛引の上にアクリルリシンを吹き付けた外構。



建物は純和風平屋建てで屋敷は165坪と可也大きく庭全体は広々としている。

昨年度から建物の一部を改築された  
その後の外構のリフォーム工事と成る。

一つの課題を与えて頂いてその課題に取り組む事と成った。



その課題とは数奇屋門&数奇屋塀伊賀市上野に有る現場の写真を与え

て戴いてそれらを真似る訳ではなく、それらを参考にした上でご希望をお聞きしてからの取り組みと成った。

幾つかの設計図を起こし、それらから一步づつご希望の線に近づけるべく再度の設計を行う。



現状でもお屋敷に見合う外構ではあるもののご希望されている外構は一般では考え難いものであった。

現状に見えている部分は大半に於いて残して行く。

それに付け加えての和風の外構となる。

後ほどに設計図面からご覧戴きます。



造園工事は JY さんが既にご契約をされて居られてそれらが先行工事となる。

京都・・・そして古来からの日本に有る名庭園を施工されるとの趣。

また別途に既設に設けられている塀の内部には最近の竹垣を施工される事となって居り、施工業者さんも既に決められて居られるご様子。



今回の外構工事は「建築・土木・造園・エクステリア」等を卓越した施工業者で有る事が大切な事となる。

自分で述べるのはおこがましいかと  
思うが誰でもが出来る外構では無い  
事は確実に申し上げる事が出来る。

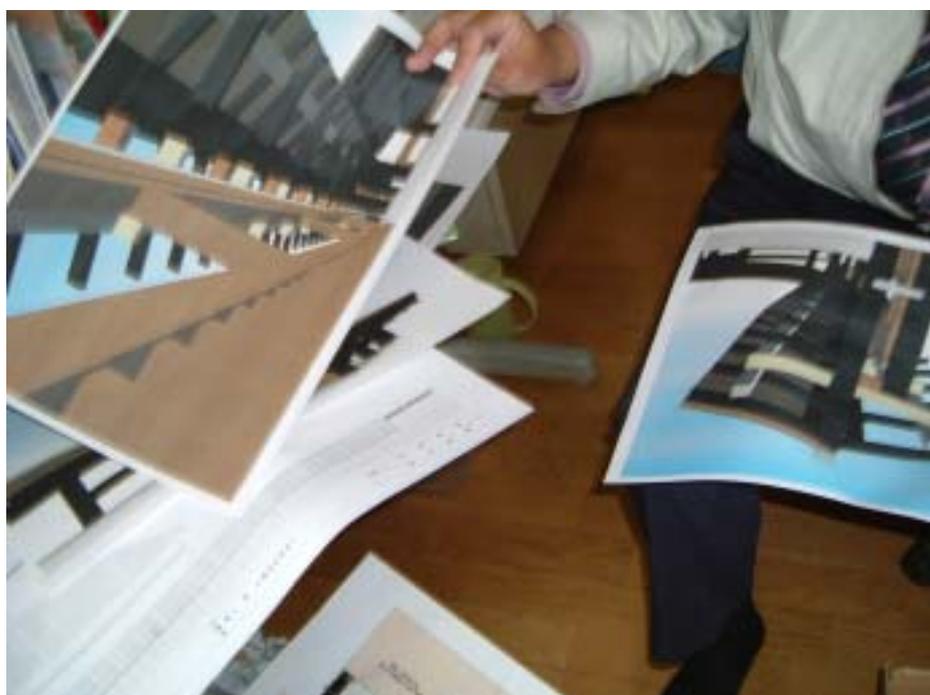


メーカーとの綿密な打合せを行いお施主様のご要望に沿わせて載けているか？

設計図書に対して実物の状況をお知らせする為に実施。



課題の中での伊賀市の参考写真と当方で描いた絵図を見ながらの打合せとなった。



CAD で描いたカラーパースを色で分けての実際に使用する材料の拾い出しとかも含めての打合せとなる。



18年7月24日工事の開始

既設の塀の一部を躯体柱を設置する為にハツリましての施工。

数奇屋塀の躯体を組み込み開始と成りました。



数奇屋塀を持たせる為の桁の取付です。



クレーンを用いての設置作業



道路を使用している事から  
警察署での道路使用許可申請を  
行つての作業です。

既設の電気引き込みポールの位置  
を移動させる為中部電力からの  
業者を入れての作業です。



図面に従つて少しずつ変化を見せて  
きています。

開口部は自動開閉の扉を設置。  
三協アルミ サイドーレ

電動タイプ

左側は片側開口  
右側は両開き開口と成ります。



屋根の部分には細かい寸法で  
垂木も配置されています。

内部には鋼管足場を設けて安全対策



正門部分には屋根を大きく設け  
既設の壁面には丸窓を設けます。

丸窓は躯体を弱らせる事から内部  
に  
有る鉄筋と他に増し鉄筋をして溶  
接

補強を行っての施工です。



全体の容貌が見えてきました。

これからが各種の付属部分の工事  
と成ります。



同上



同上



内部では車庫を建てて行く事から既設の控えブロックを撤去して代わりにH鋼をL型に加工した物を既設の塀の内部の鉄筋に絡ませて溶接した上で基礎はコンクリートの根巻を行いました。

出入口は化粧として石材を貼る為既設の土間コンクリートをハツリ取ります。



丸窓はアルミ製のフィックス型フェンスを入れ込み、縦の強度を持たせています。



丸窓の裏面です。

コンパネの型の通りに仕上げて行きます。

コンクリートを流し込み躯体を固めていきます。



18年9月5日

廻りの付属物は殆どが取り付けられております。

巾木は玄昌石・自然石貼り。



車庫も建てられて出入り口は石英岩での乱形貼り仕上げ。



左官仕上げも進み後は吹き付けを  
待っています。



車庫土間は石英岩での乱形貼り  
中抜きにしてコンクリートを打設



同上



18年9月5日での容貌



中庭も形を変えての様子が伺えます。



正門入り口には木製（檜科＝ネズコ）での特別注文製数奇屋門も設置済み



正門内部からの観察です。

アプローチは既設をそのまま使用。



既設のフェンス&開口扉部分

これらは後ほどに塗装をされて  
豹変していく事に成ります。

通路部分は車庫に向けて石英岩  
自然石での乱形貼りが見えます。



北西の車庫内部より撮影

出入口の石英岩乱形貼りの様子が  
観察できます。



出入口の乱形貼り石と既設の塀を鉄骨で補強を済ませた様子も。



18年9月26日完成

容貌を豹変させての完成の運びとなりました。

黒く塗られた壁、重厚感が溢れます。

塗料は「ラフトン」仕上げ。

巾木の白目地が壁を引きたてています。



南西方向からの容貌です。



北西方向から開口扉を閉めての撮影です。



北西の車庫出入口開口扉を閉め  
拡大しての撮影。



正門付近と塀部分の拡大撮影



正門部分拡大撮影です。

丸窓の面白さも。

そしてネズコ製数奇屋門



木製の数奇屋門が豪華さを引き立てています。

敷居は御影石

ステンレス製のレール仕様



南西方向からの容貌です。

電動式開口扉 三協 サイドーレ



南西部分の車庫前を拡大撮影。



同じく。

出入口に貼られた石英岩  
そして電動式サイドレ扉



檜科 ネズコ製（木製）数奇屋門

拡大写真



北西車庫内部からの完成写真



三協アルミ製 Uスタイル桁式  
アール屋根

側面パネルを設けて外部からの  
熱線遮断をも考慮。

屋根材&側面パネルとも熱線遮断  
FRP 製品での対応。

手前の車庫は一部柱を変更して  
車庫間口拡大を図る。

屋根の拡大部分は側面パネルを  
利用しての加工の上での取り付け。



既設のフェンス&開口扉も塗装が  
終了して三協アルミでの持ち色の  
UC 色。

豹変しています。



南西部分の車庫には  
三協 F-1 カーポート  
51 - 30 ハルーフ仕様

屋根材はポリカーポネイト

厚みは6 m/m という猛烈な  
厚みが名実共に重い。



南西車庫内部からの撮影

広く最大で普通車が3台分  
駐車が可能。



完成された正門の内部からの  
撮影。

踊場は石英岩を乱形貼りにて囲う。

ポストは2ブロックタイプ



正門の裏側の状況

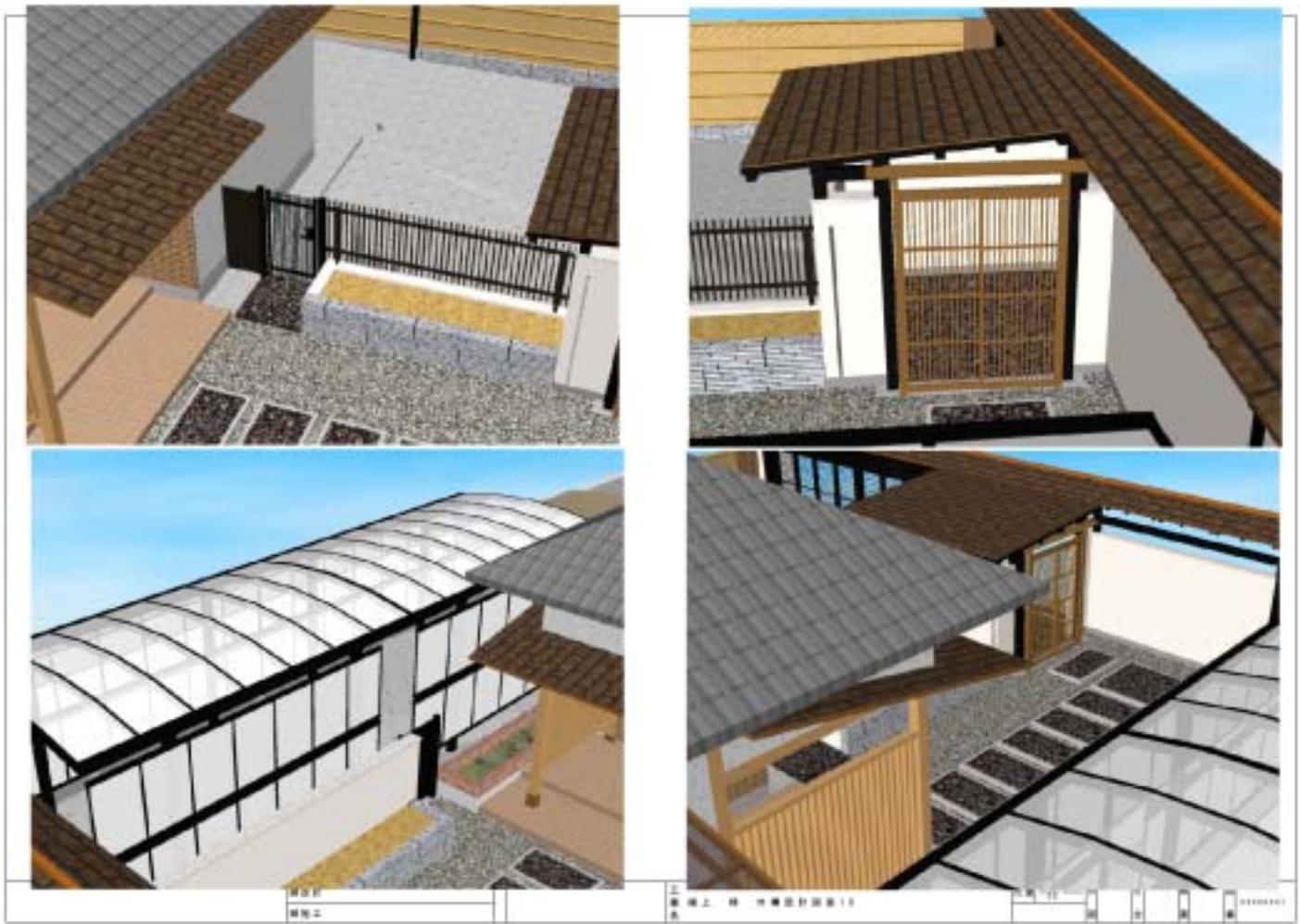


北西側車庫への玄関からの通路  
側面パネルを一部加工しての出入  
として使用する。



間口を拡大した躯体の様子が  
伺えます。





以上にて工事の紹介のページは終了です。如何でしょうか。